

NEWS INFORMATION TOPICS COMMUNICATION

NEWS

長崎県日中親善協議会

第
76
卷

発行 / 2020(令和2)年3月

福建省“荣誉公民”称号授予仪式 Fujian Honorary Citizenship Ceremony 2019



2019(令和元)年9月27日(金)

中村法道長崎県知事 福建省荣誉公民称号授与

2019(令和元)年9月27日(金)、福建省福州市内のホテルにおいて、福建省荣誉公民称号授与式が開催され、中村法道長崎県知事へ福建省政府から荣誉公民の称号が授与されました。

長崎県と福建省は、1982(昭和57)年10月に友好県省を締結して以来、様々な分野で相互交流事業を実施しており、今回の荣誉公民の称号は、両県省の友好関係を深めてきた功績に対して授与されたものです。授与式では、他の授与者7名とともに、福建省 唐登傑(とうとうけつ)省長から荣誉公民の称号が贈られ、中村知事は、授与者を代表して挨拶を行い「今回の荣誉公民の称号は、私一人にいただいたものではなく、長年にわたる福建省との幅広い交流に努めてきた長崎県民全体に贈られたものと考えており、大変ありがたく思う。今後とも、本県と福建省との交流の絆をより深めていくため、さらに力を尽くしてまいります。」と述べられました。



福建省 唐登傑省長から荣誉公民の称号を贈られる中村知事

新型コロナウイルス感染症発生にかかる募金の御礼

新型コロナウイルス感染症発生により、尊い命が奪われ、お亡くなりになられた方々に心からお悔やみ申し上げます。

当協議会では、1日も早く平穏な日常を取り戻していただくことを願い、会員の皆様に支援金を募り、総額1,441,639円の浄財をお寄せいただきました。

お寄せいただいた支援金は、中華人民共和国駐長崎総領事館を通じて中国へ贈呈し、後日、劉亜明総領事から感謝状をいただきました。

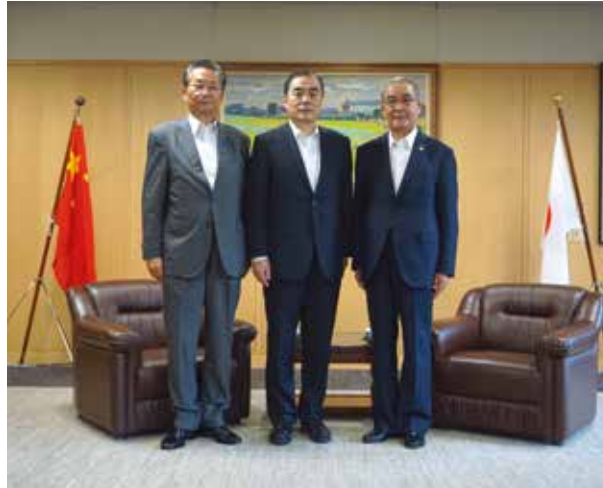


会員の皆様へ御礼方々ご報告申し上げます。本協議会では、今後とも中国との友好交流の促進に努めてまいりますので引き続きご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

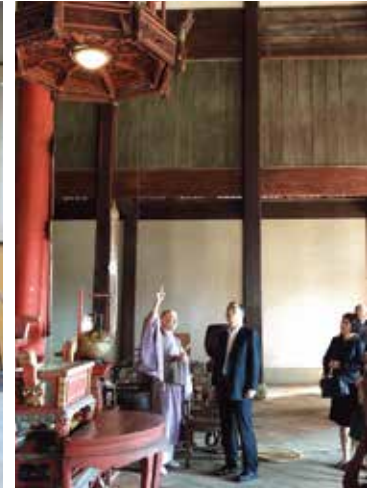
中華人民共和国駐日本国大使館 孔鉉佑大使来県

2019(令和元)年9月3日(火)～4日(水)、孔鉉佑(こう げんゆう)中華人民共和国駐日本国特命全権大使が来県されました。孔大使は、同年5月に着任され、着任後初めての地方視察として、12年ぶりに長崎県をご訪問されました。長崎県庁において、中村知事と瀬川県議会議長との会談を行い「このように盛大に歓迎していただき、感謝申し上げます。再び長崎を訪れる機会を大変嬉しく思う。この機会に、十数年ぶりの長崎の大きな変化をこの目と耳で感じたい。」と述べられました。

孔大使は、華僑華人の方々と意見交換をなされるなど交流を深められました。また、長崎孔子廟中国歴代博物館、興福寺、眼鏡橋など中国とゆかりの深い地を視察されるとともに、本県の基幹産業である造船業をご視察されるため、三菱重工長崎造船所を訪問されました。



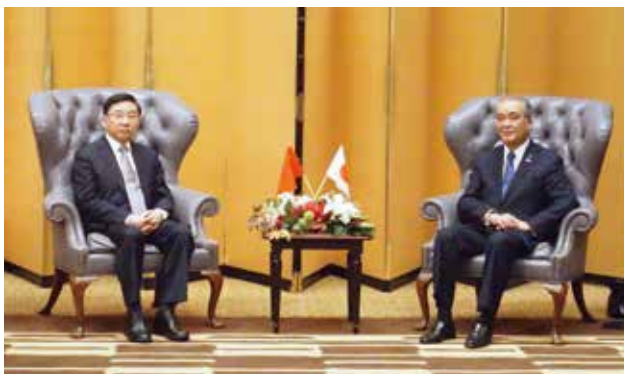
孔鉉佑中国駐日本国特命全権大使(中央)との会談



興福寺にて

中国共産党福建省委員会 于偉国書記来県

2019(令和元)年11月14日(木)～15日(金)、中国共産党福建省委員会 于偉国(う いこく)書記が来県されました。福建省書記が来県されるのは初めてのことであり、長崎市において中村知事と会見を行いました。于書記は、興福寺をご視察された際、戦時中、興福寺の梵鐘が供出されたことを知り「ぜひ興福寺の梵鐘の復元に協力したい」と提案されました。これに対し、中村知事は「友好県省である福建省から大変ありがたいご提案をいただいた。興福寺とも相談し、復元に向けて協力して進めていきたい。」と述べられました。



于偉国中国共産党福建省委員会書記との会談



歓迎夕食会

2019年上海国際友好都市

長崎県では、1996（平成8）年10月に上海市と友好交流関係を樹立し、文化、経済、観光のほか、青少年交流など多岐にわたる交流を行っています。

上海国際友好都市青少年サマーキャンプは、国際的な視野を広め相互理解を深めることを目的に、2010（平成22）年から毎年夏に行われ、上海市と友好関係を結んでいる世界各国・地域の都市から100名を超える青少年が一同に集まり、中国語学習や中国の伝統文化体験、スポーツなどの様々な活動を通して交流を深めています。長崎県は2011（平成23）年から毎年招待を受けており、県内の高校生を派遣しています。

上海サマーキャンプに参加して

長崎県立佐世保西高等学校 2年 さとむら 里村 かれん 花恋

私は今回、17ヶ国から150人以上が集まった上海市でのサマーキャンプに参加した。他国の友人とこの2週間を過ごしたことで、日本と他国の語学力の差が大きいことやコミュニケーションをとる大切さに気づくことができた。はじめの数日間は完璧な英語を話さなくてはいけないという思いから積極的に話しかけられないでいた。しかし、徐々に慣れてくると英語を完璧に話すより、ジェスチャーを使ったりそのときの感情をすぐに言動で示したりするほうがうまく相手に伝わるし会話も弾むということを知った。また他国の人はフレンドリーな人が多く、初対面の人にも気軽に話しかけるなど日本人にはあまり見られない光景に新鮮さを感じた。私たちはこの2週間のほとんどを中国人のボランティアの学生とともに過ごし、さまざまな体感をした。中国語の授業や中国の文化を学んだり、実際に上海を観光したりして中国の良さを肌で感じることもできた。今回のサマーキャンプを通して、積極的に行動する力を身につけたいと思った。海外との窓口として働く仕事がしたいと考えていた私にとって、語学力を向上させるとともに、海外の文化をもっと知ることが必要であると思った。そのためには、自らが自国のことを理解しながら、海外の人とも積極的に交流し他国の文化を知ることが必要であると思った。私にとってこの2週間は将来の大きな糧になり、海外にさらに興味をもつきっかけとなった。辛いことがあるときには楽しかったサマーキャンプでの出来事を思い出し将来のための勉強を頑張りたい。そしていつかまた、中国を訪れたい。



前列左から3番目

青少年サマーキャンプ

主催：上海市教育委員会

日程：2019年7月17日(水)～7月30日(火)

参加者：長崎県立佐世保西高等学校（生徒5名）

1年 辻 侑子 さん
 〃 萩原 愛 さん
 2年 里村 花恋 さん
 〃 酒井 郁 さん
 〃 橋元 勝美 さん
 引率者 松本 優梨 先生



内容：中国語の学習、中国の伝統文化の体験、東方緑舟でのレクリエーション活動、博物館見学、中国武術体験、上海市内及び周辺都市の観光、ホームビジット等

上海サマーキャンプに参加して

長崎県立佐世保西高等学校 1年 ^{つじ ゆうこ} 辻 侑子

私は、サマーキャンプに参加して学んだことが2つあります。1つめは「伝えようという気持ちの大切さ」です。最初の頃は、話そうと思っても英語が苦手な私は萎縮し、積極的にコミュニケーションをとることができませんでした。しかし、皆、そんな私に話しかけてくれ、こちらの伝えたいことを一生懸命理解しようとしてくれました。いつも笑顔で話しかけてくれる海外の友だちのおかげで、私も少しずつ自分の気持ちを言語だけでなく、ジェスチャーや表情、行動で思いを伝えるようにしました。そうすると、言葉は通



前列右

じなくても、たくさんの国の人とコミュニケーションを取り、仲良くすることができました。2つめは、「認め合うことの大切さ」です。サマーキャンプに参加した仲間は、お互いを受け入れる気持ちを大切にしていました。17カ国の中高生が集まると、育った環境や文化も違うので、それだけで性格も考え方もそれぞれ異なります。コミュニケーションをとりながら、相手の個性を理解し、自分も認めてもらえるように意思表示をすることが大切であると思いました。将来は海外にも通じるような絵本作家になりたいと思い、海外の文化を知るためにこのサマーキャンプに応募しました。しかし、言語が理解できないことで、交流の幅が狭まる場面や、観光をして文化を深く理解することもできず、チャンスがあるのにそれを掴むことができないということは、非常に悔しかったです。この経験から、英語や中国語をもっと勉強して、多くの人とコミュニケーションを取り、海外の文化を知り、仲を深められるようにしたいです。

日中シンポジウム「隠元禅師と黄檗文化」 ～『絆』・『感動』・『文化交流』が生み出す新たな価値～

中国と長崎は、長きにわたる交流によって互いの絆を深めてきました。その交流の歴史の中でも、長崎の興福寺住職や唐人らが招き実現した隠元禅師の来日や、禅師をはじめとした僧侶や文化人が伝えた黄檗文化は、当時の日本人に多くの感動を与え、黄檗ブームを巻き起こしました。江戸時代を通して、その影響は公家や将軍家から一般の僧俗にいたるまで広まり、日本の文化や生活に根付いていきました。

2015年5月、日中友好交流大会で習近平主席が「隠元禅師が日本に渡り、江戸時代の経済・社会発展に重要な影響をもたらした」と講話したことから注目度が高まり、日中双方において隠元禅師の功績を顕彰する動きが活発に行われるようになりました。

2017年10月には日中国交正常化45周年、長崎県と福建省との友好県省締結35周年を記念し、中国福州市で「日中黄檗文化交流大会」を開催し、青少年の少林武術や茶道交流、日中研究者による発表を行うとともに、今後も更に文化交流を深めて行くことを約束しました。

2019年6月30日、長崎県・長崎市・長崎大学の主催、中華人民共和国駐長崎総領事館、日本華人教授会議の共催により、日中シンポジウム「隠元禅師と黄檗文化」を開催しました。習近平国家主席、于偉国福建省書記からもお祝いのメッセージをいただきました。

開会式において、日本礼道小笠原流長崎支部の皆様が煎茶のお点前をご披露いただき、東彼杵産の天皇杯受賞逸品茶が来場者に振舞われました。

NPO法人長崎史談会の原田博二会長より「隠元禅師と黄檗文化」の基調講演、若木太一長崎大学名誉教授には「隠元—『万国の春』を心に」をご講演いただきました。

中国福建省からお越しいただいた約100名の皆様をはじめ、中華人民共和国駐日本国大使館の郭燕公使、駐長崎総領事館の劉亜明総領事、黄檗宗管長近藤博道猥下、宗教者懇話会関係者、研究者、華僑華人、県民の皆様など、近年の県主催イベントでは最大級となる約600名の方々にご参加いただきました。

シンポジウムに先駆けて、隠元禅師「初登宝地」である興福寺において隠元禅師東渡365周年記念イベントが開催され、厦門の虎溪岩寺と黄檗文化交流を目的とする友好寺院の締結が行われました。

シンポジウム翌日以降、中国からの訪問団の皆様は、崇福寺や聖福寺などゆかりの寺院と交流を行い、長崎歴史文化博物館を視察するとともに、隠元禅師の足跡を辿り京都府宇治市にある黄檗宗総本山萬福寺とも交流を行いました。今後も隠元禅師ゆかりの寺院は、黄檗文化交流や街のミュージアムとして情報発信の役割を果たしていただくことが期待されます。

2020年は隠元禅師出家400年、興福寺創建400周年、中華人民共和国駐長崎総領事館開設35周年を迎えます。また、2022年は隠元禅師大遠諱350年にあたりますので、日中において黄檗文化交流がさらに活発に行われる予定です。



長崎空港歓迎



パネルディスカッション

第46回中国人墓地清掃

2019（令和元）年9月16日（月）、当協議会主催で、毎年恒例の中国人墓地清掃を行いました（稲佐悟真寺国際墓地内）。この清掃活動は、昭和49年に始まり、今年で46回目を迎えました。当日は、好天に恵まれ劉亜明中国駐長崎総領事をはじめ、長崎華僑総会や長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑華人婦女連合会、中国人留学生、当協議会会員、高校生、大学生、企業、団体など約210名のボランティアの皆様と夏草が生い茂る墓地の中を、鎌や手作業で約1時間半の清掃作業に汗を流しました。皆様のご協力のおかげで夏草に覆われた墓地は見違えるほどきれいになりました。



清掃活動の様子

当協議会では、今後とも日中両国間の一層の友好親善のため、中国人墓地清掃活動を続けていきたいと考えておりますので引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

〈参加協力団体等〉

中華人民共和国駐長崎総領事館、長崎華僑総会、長崎新華僑華人協会、長崎日本華僑華人婦女連合会、中国東方航空長崎支店、九州電力（株）長崎支社、（一財）長崎県地域婦人団体連絡協議会、（一社）長崎青年会議所、長崎女子商業高等学校、三菱電機グループ、（株）親和銀行、（株）西日本シティ銀行、大黒町青年会、長崎大学、長崎大学大学院、長崎県立大学、長崎総合科学大学、長崎外国語大学、長崎国際大学、活水女子大学、長崎純心大学、長崎ウエスレヤン大学、長崎短期大学、長崎女子短期大学、長崎県立北高等学校、長崎県立西陵高等学校、海星高等学校、長崎県、長崎市、長崎県日中親善協議会会員（その他、多くの皆様にご協力いただきました。）

第21回ながさき国際協力・交流フェスティバル

2019（令和元）年10月27日（日）、長崎県庁エントランスホールにおいて第21回ながさき国際協力・交流フェスティバルが開催されました。

このフェスティバルは、国際化を広く地域社会と県民に浸透させ、国際交流の草の根のすそ野を広げていくことを目的に、1999（平成11）年から毎年開催されています。

県内の国際協力・国際交流団体など34団体、36ブースの出展があり、2,000名を超える多くの県民の皆様の参加がありました。

当協議会の取り組みとして、中国への理解を深めてもらうために、来場者の方々に、3種類の中国関連クイズを行ったほか、中国全土の地図を使った中国語会話などを通じて、協議会の活動を理解していただきました。また、パンダのぬいぐるみとの写真撮影会も大好評でした。今年は、中国東方航空長崎支店の西山さんをはじめ長崎県立大学シーボルト校研修員の周さん、中華人民共和国駐長崎総領事館スタッフの西岡さんにお手伝いいただきました。



笑顔で対応する3人

第8回長崎県日中親睦卓球交流大会

2019(令和元)年11月30日(土)、三菱重工総合体育館において、第8回長崎県日中親睦卓球交流大会を開催しました。

本大会は、長崎新華僑華人協会の呼びかけで始まりました。大会には、中華人民共和国駐長崎総領事館の崔龍領事、馬寧領事アタッシェをはじめ、自治体、県内企業、留学生、大学生、中高生など約80名が参加し、上級、初級クラス別団体戦を実施しました。今年も、長崎県内だけでなく、中国の内蒙古自治区からも卓球チームの皆様が参加され、熱いバトルが繰り広げられるとともに和やかな雰囲気の中、爽やかな汗を流しました。大会終了後は、懇親会を開催し、親睦を深めました。



試合の様子

〈結果〉

A(上級の部)

優勝 長崎 SST
準優勝 長崎新華僑華人協会 A
3位 中国内蒙古(中国)

B-I(初級の部)

優勝 チームブラック
準優勝 ホテルニュー長崎
3位 長崎上海クラブ

B-II(初級の部)

優勝 長崎新華僑華人協会 B
準優勝 Team ひよこ
3位 Ocean's(オーシャンズ)

長崎県中国語講座

当協議会の中国語普及促進事業の一環として開催しているこの講座は、これまで多くの県民の皆様が受講され、中国語の勉強を通じて、隣国に対する理解と関心を深めてきました。

講座は、受講者のレベルに応じたクラスに分けて開催しており、発音、文法、日常会話、リスニング、文章の読解などを学んでいます。

現在、長崎会場と佐世保会場にて2020(令和2)年度の講座受講生を募集しております。中国に興味のある方、もう一度中国語にチャレンジしてみたい方など、皆様のご参加をお待ちしております。

長崎会場

開講期間：2020(令和2)年4月～翌年3月
開講時間：入 門 毎週土曜日13:00～14:00
初 級 毎週土曜日14:10～15:30
中・上級 毎週土曜日15:40～17:00
開講場所：長崎県勤労福祉会館(長崎市桜町)
受講料：半年12,000円、年間24,000円
(※テキスト代実費)
講 師：徐 静(じょ しずか) 上海市出身
連絡先：095-832-2878(長崎県国際課内)

佐世保会場

開講期間：2020(令和2)年5月26日～翌年3月
開講時間：①入 門 毎週火曜日19:50～21:10
②初 級 毎週火曜日18:20～19:40
③中 級 毎週木曜日18:30～19:50
開講場所：①②中央公民館(常盤町)
③山澄地区公民館(潮見町)
受講料：年間16,500円(※テキスト代実費)
講 師：①②山口 暁(やまぐち しょう)河南省出身
③ 趙 麗(ちよう れい) 南京市出身
連絡先：0956-25-9647(佐世保市国際政策課内)

第40回長崎県中国語コンクール

2020(令和2)年2月1日(土)、長崎歴史文化博物館ホールにおいて第40回長崎県中国語コンクールを開催しました。

本コンクールは、1979(昭和54)年の長崎～上海間定期航空路開設を記念した「長崎県中国語弁論大会」から始まり、1980(昭和55)年から毎年開催しています。当日は、初級の部(課題文朗読)に13名、上級の部(中国語によるスピーチ)に社会人から高校生、大学生までの8名、計21名が参加しました。



受賞者の皆様

皆さんそれぞれ表現力豊かな朗読やスピーチを行い、日頃の学習の成果を競い合いました。

【初級(一般)の部】

最優秀賞 森口 里香(教員)

優秀賞 城川 雅子

【初級(学生)の部】

最優秀賞 山田 彩華(長崎県立大学佐世保校2年)

優秀賞 谷口 正樹(長崎県立大学佐世保校2年)

【上級の部】

最優秀賞 福田 渚(長崎県立大学佐世保校4年)

優秀賞 池上 和芳(韓国語講師)

【敢闘賞】 川添 百華(長崎県立佐世保商業高等学校3年)

【特別賞】〔中華人民共和国駐長崎総領事館賞〕

森井 宏典(長崎県立大学佐世保校3年)

西暦2020年(崇福寺・華僑関係)行事表

行事名称(旧暦月日)	新暦月日	摘要
春節 1月1日	1月25日(土)	旧暦正月
閏聖帝君飛昇 1月13日	2月6日(木)	崇福寺 閏帝祭
元宵節 1月15日	2月8日(土)	崇福寺・唐人屋敷 燈籠祭
福德正神千秋 2月2日	2月25日(火)	唐人屋敷 土神祭
觀世音菩薩仏辰 2月19日	3月13日(金)	唐人屋敷 観音祭
稲佐国際墓地・清明節 3月2日	3月25日(水)	悟真寺
崇福寺・清明節	4月5日(日)	崇福寺
天上聖母生誕 3月23日	4月15日(水)	崇福寺・唐人屋敷 媽祖祭
閏聖帝君生誕 6月24日	8月13日(木)	崇福寺・唐人屋敷 閏帝祭
普度蘭盆勝会(ポール) 7月26日・27日・28日	9月13日(日) 9月14日(月) 9月15日(火)	中国盆 施餓鬼大法要
大成至聖孔子生誕 9月28日	9月第三土曜日 9月19日	釈奠典礼(孔子生誕祭) 2571年祭
中華人民共和国成立記念日 国慶節	10月1日(木)	建国71周年

※長崎ランタンフェスティバルは1月24日(金)から2月9日(日)まで開催。

※過九節 2月22日(土) 旧暦1月29日。

※中秋節 10月1日(木) 旧暦8月15日。

私らしい留学

長崎外国語大学 2年 ^{やました}山下 ^{りゅうじ}竜司

私は、2019年9月から2020年1月まで中華人民共和国駐長崎総領事館の推薦により、北京大学に留学させていただきました。今回の留学を通して様々な経験をしました。

初めに困ったのが入学手続きでした。指定された場所には多くの留学生がいっぱいで、私のままならない中国語での手続きはとても困難でした。

私は、普段からあまり人に頼ることができず、自分の中だけで考える傾向にあるため、慣れない環境の中、悩んでいました。そんな時、話を聞いてくれて一緒に解決してくれたのがルームメイトでした。上手に話せなくても自分で行動し、困った時は誰かに助けを求めることが大切だと気づくことができました。自分の気持ちを上手く伝えられず、中国語を使うのが苦しい時期もありましたが、ルームメイトや中国人の学生と生活を共に過ごすことで、次第に慣れてきました。

在学中は、様々なイベントに参加しました。一番思い出に残った活動は11月に開催された留学生スピーチコンテストに参加できたことです。世界中から集まった留学生が発表するスピーチを目の前で聞くことができ感動しました。中国での留学は、私に世界の広さと他国の人々とのコミュニケーションが取れる嬉しさ、中国語の楽しさを教えてくれたとても貴重な体験となりました。

1月に新型コロナウイルスの影響で帰国し、中国に戻れないという状況になりましたが、機会があれば再度留学し、今回学んだことを活かしていきたいと思います。



北京大学で開催された留学生スピーチコンテスト
（世界中から集まった留学生のスピーチを聞き、感動しました。）
前列右から2番目

上海留学

長崎県国際課 主事 ^{はまの}濱野 ^{ふみか}史佳

2019年9月から語学研修生として、上海外国語大学に派遣されている濱野と申します。早いもので、上海に来てから約半年が過ぎました。今年の初め頃から新型コロナウイルスが発生し、日頃は人も交通量も多い上海ですが、今は少し静かな町となっています。一日でも早く日常生活が戻ることを祈っています。

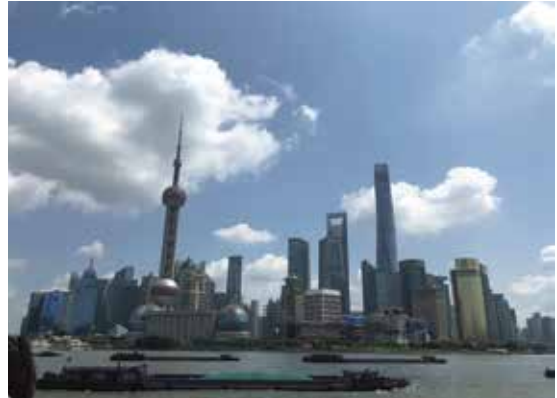
さて、今回は、私の留学生活について少しご紹介させていただきたいと思います。私の在籍しているクラスには、フランスやスペイン、韓国など8カ国から集まった17名のみなさんが中国語の学習をしています。毎週月曜日から金曜日の午前中は、中国語の授業を受講し、午後からは中国文化を体験したり、まだわからないことが多い中国語の復習予習をしています。また、休日には、友人たちと上海の町を散策することが楽しみになっています。

次に、私が体験した中国文化の一つをご紹介させていただきたいと思います。長崎県でも長

崎刺繍や三川内焼の染付技術などの無形文化財がありますが、中国の無形文化財の一つとして剪紙（切り絵細工）があります。それはとても細かい作業で、はさみ一本で一枚の紙から様々な絵を切り出したり、カッターナイフを使って、さらに繊細な絵を作り出すものです。この剪紙は、観光地の露天でお土産として似顔絵等を即興で作ってくれるところもありますし、また、多く見かけるのが店先や家の玄関に貼っている福の字です。とても日常生活に根付いた文化なんだと感じました。早速私もはまって日々練習をしています。

まだまだ語学の習得が不十分ですが、より深いコミュニケーションをとるためにも、引き続き頑張りたいと思います。また、語学だけではなく、中国は広く、各地に多様な文化が存在しています。積極的に各地を訪れ様々な事を体験し、中国の魅力をみなさんへ発信することが出来ればと思います。

長崎は、上海へ直行便が飛んでいて、とても便利ですので、ぜひみなさんも訪れてみてください。きっと素敵な出会いが待っていると思います。



上海で最も有名な観光スポットのひとつ
対岸の外灘から見た浦東の高層ビル群

私と日本

長崎県立大学シーボルト校研修員（中国人民対外友好協会職員） しゅう さん 周 珊

私と日本のストーリーを記したいですが、アメリカの話から始めましょう。

一昨年、私はアメリカに行く機会があったのです。せっかくのアメリカですから、どうしても親戚や友達にお土産を買って帰ろうと思っていました。そしてアメリカの安くていいものを絶対買いたいです。そのとき自分で考えても何もわからなかったからネットで調べてみました。意外なことに、ネットで調べてもピンと来なくて、その時初めて気づきました。私は、アメリカについて何もわからなかったのです。

日本になれば、それはまた全然違います。すべて頭の中にありますから、調べる必要がありません。何がいいか、何が安いのか、何が使いやすいか、何が国内に見られないのか、ほとんど把握しています。各都道府県の名物も知っています。このように比べてみたら、日本は本当に私にとって一番わかる、一番親しい国だと感じました。

私と日本との縁の始まりは早かったです。私が小学生の時、テレビでは日本のアニメが放送されていました。その時は『忍たま乱太郎』と『ちびまる子ちゃん』があって、二つとも私の大好きな作品です。父も一緒に見てくれて、私が宿題をしたくないとだだをこねるとき「ちびまる子ちゃんとそっくり」と言われたり、「忍たま乱太郎」の校長先生が飼っている猫の笑い声を真似したり、いつ思い出してもやさしくて、温かい気持ちになります。

その後も日本のアニメとか漫画とかいっぱい見て読んで、一番好きなのは『スラムダンク』の桜木花道です。彼のいつでも自信を持って、元気いっぱい、くじけない姿は私に大きな影響をあたえてくれました。

大学に入るとき、私は、日本語を専攻に選びました。大学そして大学院も合わせて、7年間日本語を勉強しました。卒業後も日本と関連する仕事に就きました。大学時代私は、1年間東京にある武蔵野大学に留学して、卒業後出張や観光で日本に何回も来ています。今回もまた長崎で1年間勉強できる大変貴重な機会に恵まれ、感謝の気持ちでいっぱいです。

なぜ何回来ても飽きないのかというと、日本の各地の雰囲気が違うのが理由の1つかもしれません。長崎の風情を私から言うと、長崎は、歴史と記憶に満ち溢れた町です。中華街とオラ

ンダ坂を歩くとき、街中の随所にあるカステラと角煮のポスターを見るとき、何百年前、この外国と貿易を行う町は、きっと忙しくて活気に溢れていただろうと。電車に乗っていて、手に一日乗車券を握る観光客が平和公園、原爆資料館で降りるとき、長崎の戦争の記憶と、平和の呼びかけは伝えていくだろうと。いつもそう思います。

一番感動したのは、長崎県と長崎市主催の年2回行われる平和大学です。私は、去年4月に長崎に来て、6月の平和大学に参加させていただきました。その日、私は、各国から来た留学生たちと一緒に長崎大学の講堂で原爆のドキュメンタリーを見て、被爆講話者のおじいさんが、その日自分の目で見た光景を教えてくださいました。その後も、みんな一緒に原爆資料館を見学し、最後は水辺の公園でお弁当を食べながらお互いの国への理解と好意を語りあいました。とても素晴らしいイベントだと思います。生々しく、正しく、記憶に残ります。

そしてもう一つ印象に残ったのは、被爆講話者のおじいさんが講演後、質問応答の時、中国から来た女性の留学生が「原爆が投下されたのは、日本がほかのところで罪を犯したのが原因ではないですか。あなたたちだけが被害者ではないですよ。」と。

退場の時、後ろを歩いている中国人留学生が彼女の発言について話しています。彼らは彼女の発言について、「ここで言うべきじゃない」と言っていました。

私も同感です。しかし、ではどこで話すべきなのかなとも考えます。歴史問題は難しいです。10年前私が初めて日本に留学に来たとき、あらかじめ自分に言いました。「歴史と政治のことを話すな。ただ一般人として、一般の人々と友好にやっていたらいい。」このように歴史の問題をずっと話さずに避けてきました。

逆に、この問題を直視しつづける日本の方々と巡り合いました。

私の1人の友達が日本に留学しているとき、病気になって入院することがありました。当時の彼女の主治医の先生が家族のように、入院初日に彼女のために歯ブラシ、タオル、使い捨ての下着まで入院用の日用品を買ってきてくれました。入院期間中も、先生がよく果物やおやつとか持って、彼女のお世話をしたり、話しをしてあげたりしていました。友達が退院するとき、先生が彼女に「昔日本の人が中国の人にとっても悪いことをしていましたから、せめての償いができれば」と言いました。

友達が私たちにここを話したとき、目が赤くなりました。聞いている私たちも感動と感謝の気持ちでいっぱいです。

私の日本人の先生もそうです。とてもやさしい方で、ボランティアで十数年も私の大学で学生の作文を指導してきたのです。先生は年に半分以上の時間は日本にいて、いつも中国から来た留学生の面倒を見ています。中国の留学生のために食事会を行ったり、学生たちを連れて他の県までリング狩りに行ったり、元日になると学生たちを家に招いてお正月を一緒に過ごしたりしています。先生は「学生に日本の好印象を残したいの」と言っていました。

このような日本の友人たちに対して、私たちは本当に尊敬していますし、心から感謝です。

ここから出発点に戻りましょう。私たちが歴史を語り出すとき、いったい何を言いたいのですか。私が他人を代表することはできませんが、私も周りの友人の考え方も大体似ています。私たちが望んでいるのは、今の日本の人々が中国の人に対して罪悪感を負うことではなく、中国の人が善意を受けたときもそれが当たり前ではなくありがたく感じます。そして恩返しに努力します。

では私たちは何を望んでいますか。私が望んでいるのは、実際長崎の人々がずっとやってきたことです。私が望んでいるのは、歴史が正しく直視され、



日本の友人の皆さんと(右端)

銘記されることです。私が望んでいるのは、日本の人々、ましてやすべての人々が広島に、長崎に何が起きたかを知って覚えることです。それと同時に、すべての人々に中国の東北に、南京に何が起きたかを知って覚えてほしいです。すべての人々に長崎が戦争でどれだけの苦痛を負われたのかを知ってほしいです。それと同時に、すべての人々に南京が戦争でどれだけの苦痛を負われたのかを知ってほしいです。もし長崎の話をして平和を呼びかける人が、南京に関する記憶が全くなかったら、それこそ私が悲しむことです。平和大学のイベントで質問をした女子学生も、おそらく同じようなことを言おうとしていたのです。

歴史問題は本当に難しいです。聞く人はおそらく聞きたくないです。話す人も正直言いづらいです。ただこの問題を避けたら、歴史に対する記憶はますますぼんやりしていくことに間違いありません。そんなに悲惨な歴史を忘れていいものなのですか。私は違うと思います。歴史のことを語るのは、蒸し返して「あなたがその時それはするべきじゃなかった」と言うのではなく、未来に向けて「私たちは絶対同じことをやってはいけない」と言うのです。

戦争がもたらした痛み、苦しみ、死亡、やまい、憎しみを覚えましょう。戦争がもたらしたすべての悲しみを覚えましょう。これらの記憶が戦争に反対する力になると私は思います。未来にあるのは友好と平和だけと願います。

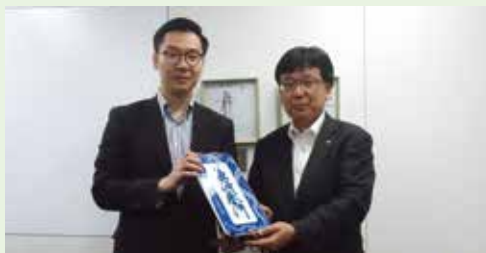
中華人民共和国駐長崎総領事館領事アタッシェ離任・着任

2019(令和元)年9月12日、中華人民共和国駐長崎総領事館領事アタッシェ離任及び着任に伴い、張坤傑(ちょうこんけつ)領事アタッシェと馬寧(まねい)領事アタッシェが長崎県文化観光国際部を訪問しました。張領事アタッシェは、2017年7月から2019年9月までの約2年間勤務され、当協議会の行事にも数多く参加していただきました。10月からは、中華人民共和国駐大阪総領事館の勤務です。



張領事アタッシェには、長崎を離れても、長崎県の発展のために今後ともお力添えをいただきたいと長崎県から「長崎奉行」(陶板)を贈呈しました。

馬領事アタッシェは、2018年7月に中国外交部へ入部、2019年9月、初めての海外勤務が中国駐長崎総領事館となりました。長崎の印象をお聞きすると、長崎は、多くの文化を持つ開かれた町で、ご自身の出身地である天津も中国近代以来解放の窓口であるので、長崎に親近感を自然に持っているそうです。ちなみに長崎の好きな食べものは、お魚料理すべてだそうです。



長崎県文化観光国際部中崎部長から「長崎奉行」を贈られる張領事アタッシェ(左)

『長崎奉行とは』……

長崎県が県のイメージアップ推進の一環として、本県に一定期間居住し、県外へ転出する県政の振興に寄与した方々に現代の「長崎奉行」として、今後とも長崎県の発展のためにお力添えをいただこうとするもの。

長崎

月曜日
金曜日

上海
(浦東空港)

13:20発 ←〈MU520便〉→ 14:20着

12:25着 ←〈MU519便〉→ 9:30発

(すべて現地時間での表示)

中国東方航空長崎支店

■ご予約・お問い合わせは

〒850-0033 長崎市万才町7-1 TBM長崎ビル

TEL 095(828)1510・FAX 095(828)2539



ANA CROWNE PLAZA
AN IHG HOTEL
NAGASAKI GLOVERHILL

ビジネスも観光も、
最上の寛ぎを
旅の思い出に。

ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
〒850-0931 長崎市南山手町1-18 Tel.095-818-6601
www.anacrownplaza-nagasaki.jp



HOTEL NEW NAGASAKI
ホテルニュー長崎

〒850-0057 長崎市大黒町14番5号
TEL:095-826-8000(代)
https://www.newnaga.com/

ご旅行の計画はNABICへ！

競技大会や遠征・強化合宿など各種スポーツ団体に
最適な旅行プランをご提案します！
まずはお気軽にご相談ください。

その他、各種プランも承っております

社員旅行	家族旅行	グループ旅行
報奨旅行	全国大会出場応援	
永年勤続旅行	ハネムーン	消防団研修

【お問合せ】
NABIC 旅行センター
TEL:0957-49-5500
FAX:0957-49-5501
平日 10:00～18:00
土曜 10:00～13:00
長崎県観光振興局観光課104号
(社) 日本旅行業協会正会員

～地域に貢献し、共に成長できる空港を目指して～ NABIC長崎空港ビルディング株式会社

長崎の街とともに六十余年。情報に「伝える喜び」を。

昭和二十六年中島川のほとり、本大工町の一角で創業して六十余年。
多くの方に支えられ、今日まで数多の印刷物・コンテンツを皆様にお届けして参りました。
正文社印刷所はこれからもお客様と「伝える喜び」を共有していきます。

PrintingsPlanning
SEIBUNSHA 有限会社 正文社印刷所

〒850-0874 長崎市魚の町6番6号 TEL.095-826-0211 FAX.095-825-0538
http://www.seibunsha-print.co.jp

令和2年度新規会員募集

長崎県日中親善協議会は、日本国と中華人民共和国との親善を図り、平等互惠の上に相互の文化交流、経済提携を促進し、世界の平和と繁栄に寄与することを目的として、昭和48年に設立されました。

友好交流事業では、中国人の墓地清掃、中国語コンクール、中国語講座の開催等を行っております。

当協議会の主旨に賛同される方を広く募集いたします。

- 年会費 個人会費 3,000円
法人会費 1口 10,000円～
- 4月からは、中国語講座も開講します。
ただいま、受講生募集中です。
お問い合わせは当協議会まで

長崎県日中親善協議会

〒850-8570 長崎市尾上町3番1号5階 長崎県国際課内 TEL(095)832-2878・FAX(095)832-2881
ホームページ: www.nagasaki-nitchu.org

事務局紹介

事務局 長 (長崎県国際課長) 永橋 勝巳

事務局次長 (長崎県国際課総括課長補佐) 谷村 重則

事務局書記 (長崎県国際課課長補佐) 本多 良成、(長崎県国際課係長) 山崎 優子、(長崎県国際課主事) 柏田愛佑美
大坪 優子、徐 静